



決算補足説明資料

2019年12月期 第3四半期

西本Wismettacホールディングス株式会社

2019年11月13日

- 2019年12月期 第3四半期決算概要 P.2
- 2019年12月期 業績予想の修正 P.6
- 株主還元の方針 P.11
- 会社概要 P.13

2019年12月期 第3四半期 決算概要



- 売上高は、アジア食グローバル事業が前年同期比+3.6%、農水産商社事業が前年同期比▲4.1%、全体では前年同期比+1.1%となった。
- 営業利益は、アジア食グローバル事業、農水産商社事業、いずれも減益となり、全体でも前年同期比▲25.2%となった。
- 連結決算における円換算時の為替レートの影響（1米ドル当たり、前年同期比0.46円の円高）は、前年同期比（北米分）は売上高で3.4億円、営業利益で0.1億円のマイナスインパクトとなった。

(単位：億円／下段は売上高構成比)

| | | 2018年12月期 | 2019年12月期 | |
|--------------|----------------------|-------------------|-------------------|---------|
| | | 第3四半期 累計実績 | 第3四半期 累計実績 | 前年同期比増減 |
| 業績 | 売上高 | 1,355 (100.0%) | 1,370 (100.0%) | +1.1% |
| | 売上総利益 | 233 (17.2%) | 237 (17.3%) | +1.7% |
| | 営業利益 | 47 (3.5%) | 35 (2.6%) | ▲25.2% |
| | 経常利益 | 47 (3.5%) | 36 (2.7%) | ▲23.1% |
| | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 33 (2.5%) | 25 (1.9%) | ▲24.4% |
| 円ドルレート（期中平均） | | 109.61円 | 109.15円 | ▲0.46円 |
| 1株当たり四半期純利益 | | 235.00円 | 177.58円 | ▲24.4% |

*2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期第3四半期累計実績については、遡及適用後の数値を記載しております。

【アジア食グローバル事業】

- ▶ 売上高は、全体では前年同期比+3.6%、[北米地域は前年同期比+3.6%（現地通貨ベースでは+4.0%）、北米以外の地域は円ベースの合算で前年同期比+3.7%、現地通貨ベースの加重平均では前年同期比+9.4%]となった。
- ▶ 営業利益は、前年同期比▲10.7%。北米地域（米国）においては、中国からの輸入品に対する追加関税の引き上げ、ナショナルブランド商品の値上等により原価が上昇。販管費においては人件費及び物流費の高止まり、政策経費の計上等の継続により減益となった。北米以外の地域においては、英国子会社の苦戦（為替変動による通貨安に伴い仕入原価が上昇し利益を圧迫）、グループ内における仕入・調達人員増加等が継続し減益となった。

【農水産商社事業】

- ▶ 売上高は、前年同期比▲4.1%となった。売上高については国内における青果全般（柑橘類、トロピカル商材、野菜類）の販売苦戦及び販売単価の下落によるもの。また、中国子会社における米国産柑橘類等の販売低迷も影響。
- ▶ 営業利益は、国内販売における青果全般の減収、及び原価上昇等が影響し減益となった。

外部顧客への売上高

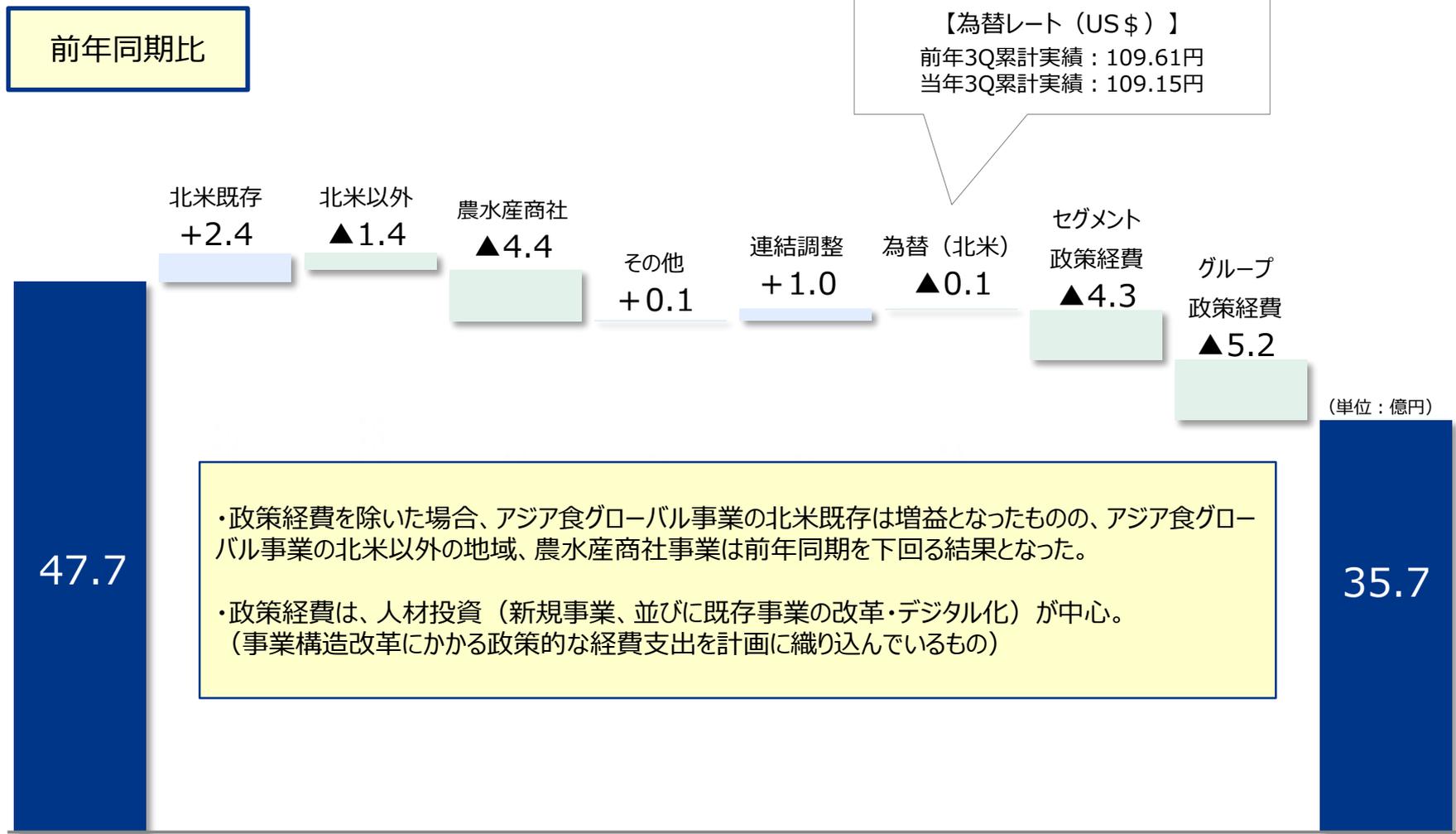
（単位：億円）

| | 2018年12月期 第3四半期累計実績 | 2019年12月期 | |
|-------------|------------------------|-----------|---------|
| | | 第3四半期累計実績 | 前年同期比増減 |
| アジア食グローバル事業 | 919.4 | 952.6 | +3.6% |
| 農水産商社事業 | 408.2 | 391.2 | ▲4.1% |
| その他事業 | 27.8 | 26.5 | ▲4.7% |
| 合計 | 1,355.4 | 1,370.4 | +1.1% |

営業利益

| | 2018年12月期 第3四半期累計実績 | 2019年12月期 | |
|-------------|------------------------|-----------|---------|
| | | 第3四半期累計実績 | 前年同期比増減 |
| アジア食グローバル事業 | 37.7 | 33.7 | ▲10.7% |
| 農水産商社事業 | 9.3 | 4.8 | ▲47.7% |
| その他事業 | 0.4 | 0.5 | +23.6% |
| 調整・グループ政策経費 | 0.1 | ▲3.4 | - |
| 合計 | 47.7 | 35.7 | ▲25.2% |

*2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期第3四半期累計実績については、遡及適用後の数値を記載しております。



2018年12月期
第3四半期累計実績

本ページにおいては、事業利益の変動を明らかにするために「セグメント政策経費、グループ政策経費、未実現利益」を各セグメントから除外した数値を記載しております。その為、上表における個々の利益変動額は、決算短信上のセグメント利益額等の変動とは一致しません。

2019年12月期
第3四半期累計実績

2019年12月期 業績予想の修正



- 第3四半期累計実績までの業績、および第4四半期見通しを踏まえ2019年12月期の業績予想を修正。
- 売上高は、前期比で+0.4%（当初予想は+5.9%）に下方修正。
- 営業利益は、前期比で▲32.9%（当初予想は▲10.5%）、経常利益は、前期比で▲29.7%（当初予想は▲7.9%）に下方修正。
- 上記結果として、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比で▲30.2%（当初予想は▲6.2%）に下方修正。

（単位：億円／下段は売上高構成比）

| | | 2018年12月期 | 2019年12月期 | | | |
|--------------|---------------------|-------------------|-------------------|--------|-------------------|--------|
| | | 通期実績 | 修正予想 | 前期比増減 | 当初予想 | 前期比増減 |
| 業績 | 売上高 | 1,822 (100.0%) | 1,830 (100.0%) | +0.4% | 1,930 (100.0%) | +5.9% |
| | 売上総利益 | 318 (17.5%) | 318 (17.4%) | 0.0% | 336 (17.4%) | +5.7% |
| | 営業利益 | 67 (3.7%) | 45 (2.5%) | ▲32.9% | 60 (3.1%) | ▲10.5% |
| | 経常利益 | 65 (3.6%) | 46 (2.5%) | ▲29.7% | 60 (3.1%) | ▲7.9% |
| | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 46 (2.5%) | 32 (1.8%) | ▲30.2% | 43 (2.2%) | ▲6.2% |
| 円ドルレート（期中平均） | | 110.43円 | 109.00円 | ▲1.43円 | 110.00円 | ▲0.43円 |
| 1株当たり当期純利益 | | 322.18円 | 224.89円 | ▲30.2% | 302.20円 | ▲6.2% |

* 2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

【アジア食グローバル事業・北米地域】

・売上高は前期比で増収を見込んでいる。利益は、第4四半期以降も中国からの輸入品に対する追加関税の引き上げ、ナショナルブランド商品の値上による原価上昇が継続する見通しであり、販売価格の改定を進めているが、今期中には原価上昇分を吸収することは困難なため減益となる見通し。販管費においては人件費及び物流費の高止まり、政策経費の計上等が継続する見通し。

【アジア食グローバル事業・北米以外の地域】

・第4四半期も英国の苦戦（為替変動による通貨安に伴い仕入原価が上昇し利益を圧迫）が継続の見通し。また、豪州も同様、為替変動による原価上昇の影響により通期で苦戦。

【農水産商社事業】

・第4四半期も青果全般においては、依然、苦戦が継続する見通し。第3四半期までのマイナス分をカバーすることは難しく、通期での売上高、利益は前期比で減収、減益となる見通し。

外部顧客への売上高予想

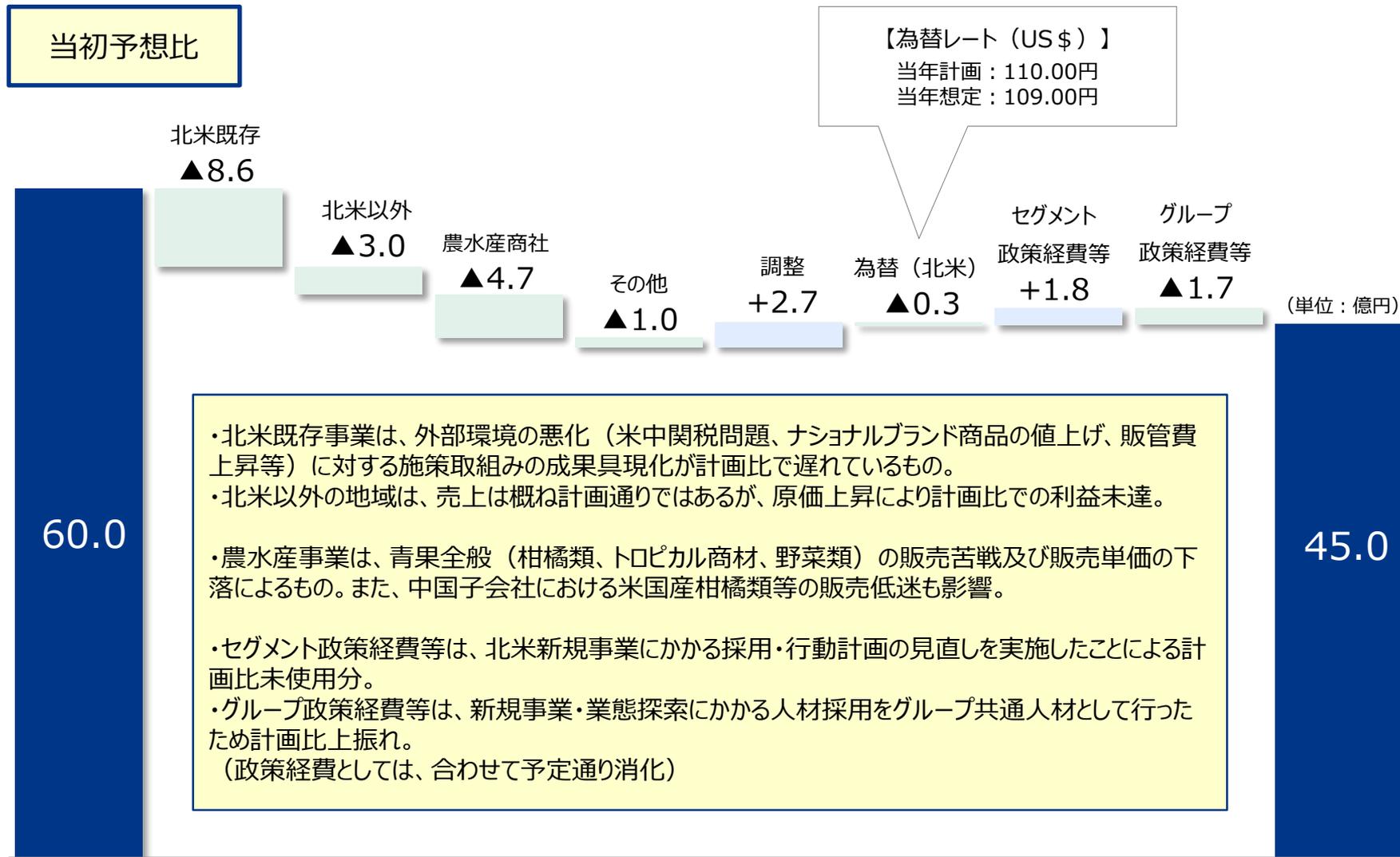
（単位：億円）

| | 2018年12月期 通期実績 | 2019年12月期 | | | |
|-------------|-------------------|-----------|-------|---------|--------|
| | | 修正予想 | 前期比増減 | 当初予想 | 前期比増減 |
| アジア食グローバル事業 | 1,251.1 | 1,285.0 | +2.7% | 1,324.9 | +5.9% |
| 農水産商社事業 | 528.8 | 505.0 | ▲4.5% | 558.2 | +5.6% |
| その他事業 | 42.2 | 40.0 | ▲5.3% | 46.8 | +11.0% |
| 合計 | 1,822.2 | 1,830.0 | +0.4% | 1,930.0 | +5.9% |

営業利益

| | 2018年12月期 通期実績 | 2019年12月期 | | | |
|-------------|-------------------|-----------|--------|------|--------|
| | | 修正予想 | 前期比増減 | 当初予想 | 前期比増減 |
| アジア食グローバル事業 | 54.0 | 46.0 | ▲14.9% | 56.1 | +3.9% |
| 農水産商社事業 | 10.3 | 6.0 | ▲41.9% | 10.7 | +4.3% |
| その他事業 | 2.5 | 1.5 | ▲42.3% | 2.5 | ▲1.3% |
| 調整・グループ政策経費 | - | ▲8.5 | - | ▲9.5 | - |
| 合計 | 67.0 | 45.0 | ▲32.9% | 60.0 | ▲10.5% |

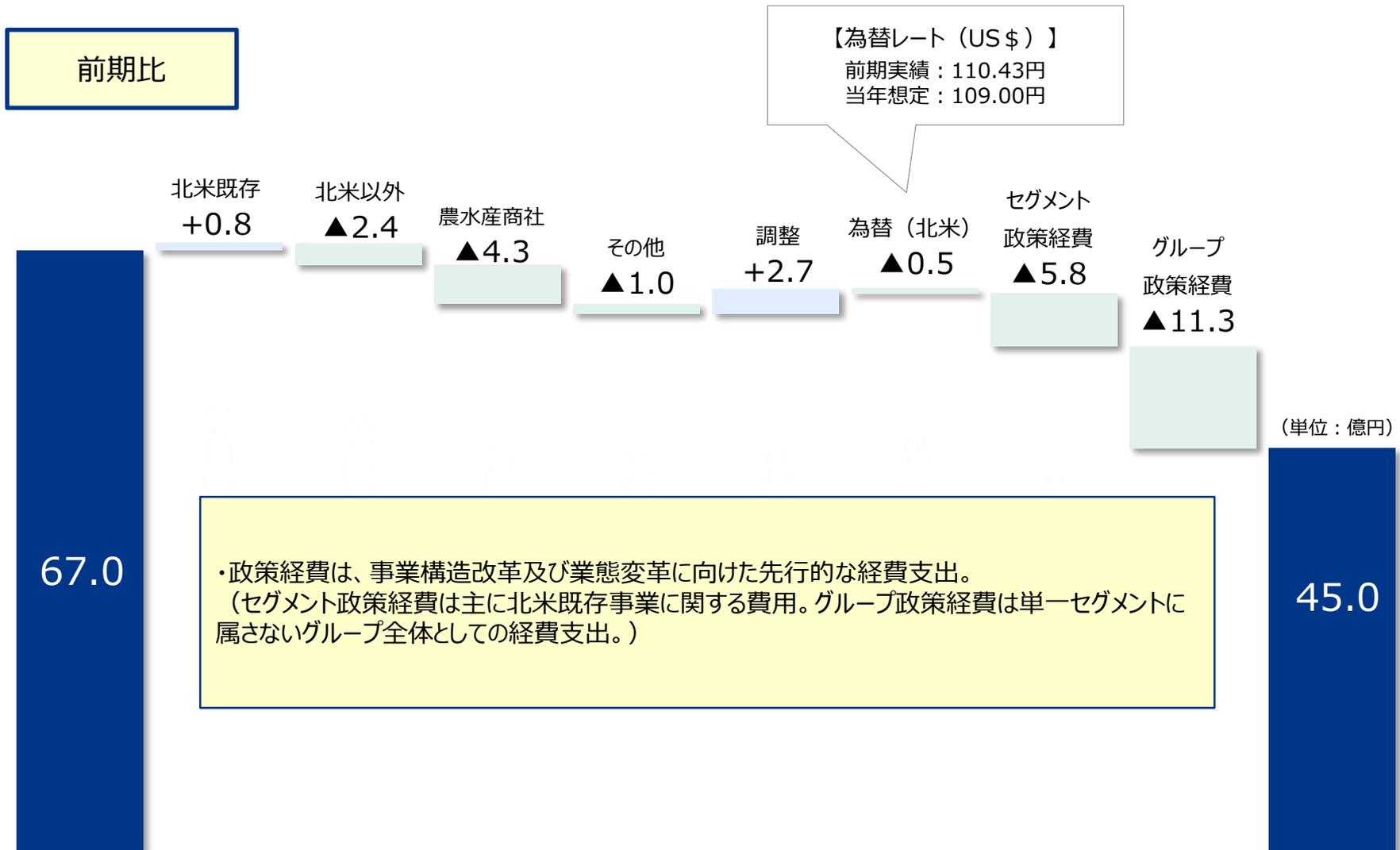
* 2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しております。



2019年12月期
予想 (当初)

* 2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しております。
 *本ページにおいては、事業利益の変動を明らかにするために「セグメント政策経費、グループ政策経費、未実現利益」を各セグメントから除外した数値を記載しております。

2019年12月期
予想 (修正後)



2018年12月期
実績

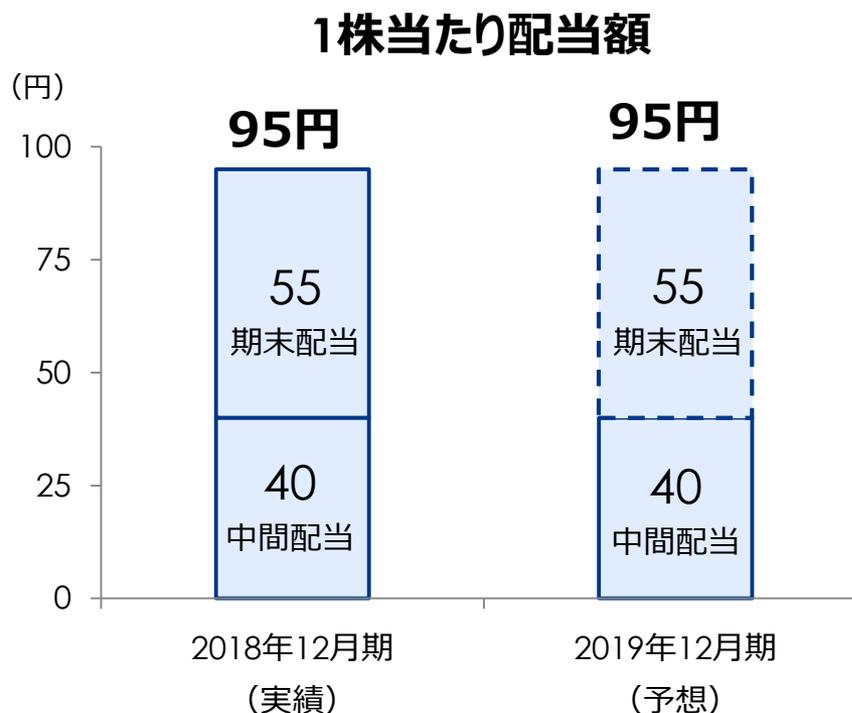
* 2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しております。
 *本ページにおいては、事業利益の変動を明らかにするために「セグメント政策経費、グループ政策経費、未実現利益」を各セグメントから除外した数値を記載しております。

2019年12月期
予想（修正後）

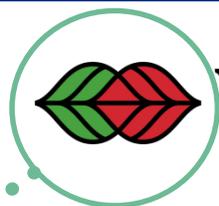
株主還元の方針

【方針】

- ◆ 利益配分については、将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針とする。
- ◆ 年2回（中間、期末）の配当を予定。2019年12月期の1株当たり配当額は、年間95円、中間40円（実施済）、期末55円を予想（変更なし）。



会社概要



Wismettac

(ウイズメタック)

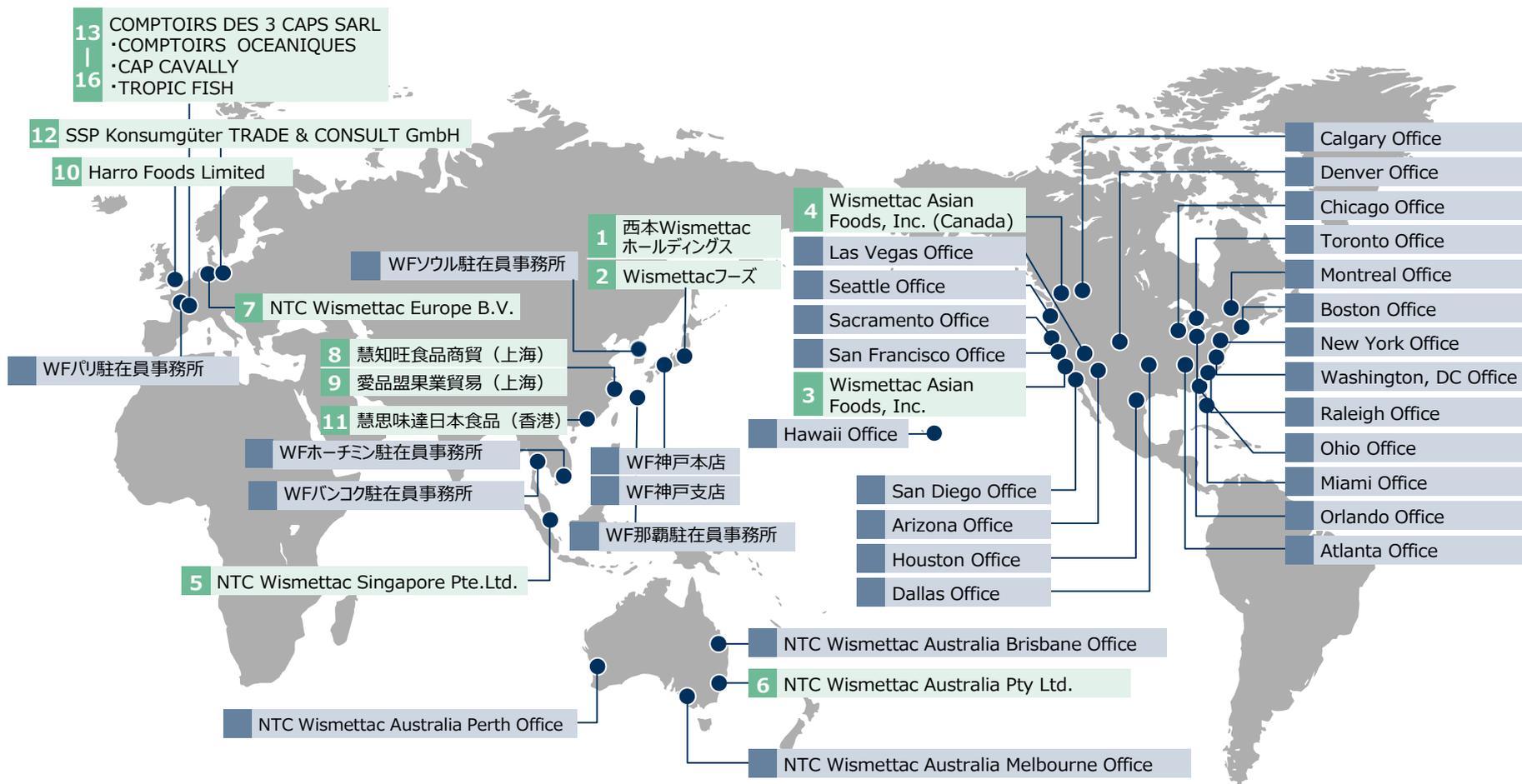
- ◆「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体
 - 革新の「赤」+自然の「緑」
 - 「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」
- ◆社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

- 【Wisdom】 …(西洋智)
- 【Metta】 …(東洋智)
(パーリ語：優しさ/思いやり)
- 【Creativity】 …(価値の創造力)

明治45年(1912年)に創業後、世界市場に食材・食品を供給するグローバル企業として発展

| | | |
|----------|---|---------------|
| 社名 | 西本Wismettac (ウイズメタック)ホールディングス株式会社 | |
| 本社 | 東京都中央区日本橋室町3-2-1 日本橋室町三井タワー15階 | |
| 創業 | 1912年5月 | |
| 代表者 | 代表取締役会長 洲崎 良朗、代表取締役社長 金井 孝行 | |
| 従業員数 | 1,676名 (うちアジア食グローバル事業 : 1,404人) [2018年12月末時点] | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ◆アジア食品の開発及びグローバルでの販売 ◆青果物全般(フルーツ、野菜、その他加工品)の輸入販売、食品メーカー並びに 外食産業向けの食材の供給 | |
| 子会社、関連会社 | 子会社10社、関連会社5社 | |
| 拠点所在地 | 世界48か所 (うち北米拠点 : 24か所) 日本・米国・カナダ・シンガポール・オーストラリア・オランダ・英国・ドイツ・フランス・中国・ 香港・タイ・ベトナム・韓国 | |
| 連結売上高 | 1,822億円 [2018年12月期] | * 海外売上比率67.3% |
| 連結経常利益 | 65億円 [2018年12月期] | |
| 自己資本比率 | 61.5% [2018年12月期] | |

- ◆ 世界各国において事業を展開、グローバルで48拠点を展開
- ◆ 北米（アメリカ・カナダ）においては、24の拠点を保有



図表中の“WF”は“Wismettacフーズ”の略

- ◆ 北米を中心に世界各地で日本食を中心としたアジア食品・食材等を販売。商品開発・企画から販売・配送までの自社一貫商流を実現。

←関連法規制への対応→

商品開発・企画

仕入・調達

通関

保管

販売

分荷・配送



**PB商品開発力
及び
更なるPB化の
推進**

「Shirakiku」
売上構成比約40%
(北米、2018年実績)

**仕入製品の幅広さ
及び
仕入先の多様さ
(約8,000アイテム)**

自社物流機能及びシステム



**営業体制及び
北米拠点網**

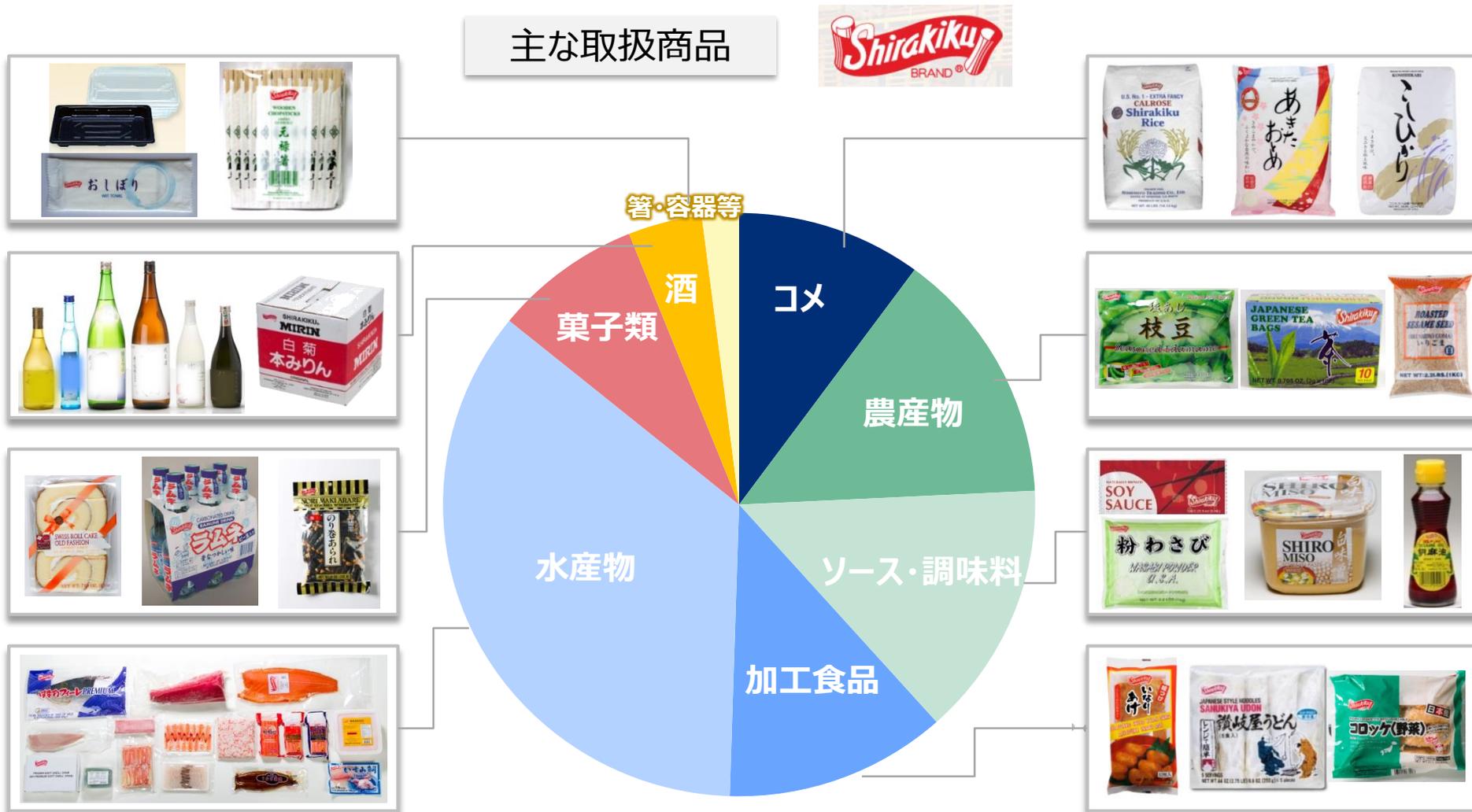
(北米24拠点)
(世界38拠点)



- ◆ グローバルに最適な産地を選定
- ◆ 生産者と協同で顧客ニーズに合わせた商品開発
- ◆ 法令に準拠した生産及び品質管理体制

顧客ニーズを汲み取った商品開発

日本食を中心としたアジア食品・食材等を米国、日本、中国、東南アジア等から輸入・調達し、約8,000アイテムに及ぶ商品を北米を中心にグローバルで販売



注意事項

本資料は、西本Wismettacホールディングス株式会社および関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社
経営企画室

TEL : 03-6870-2015

